共立女子大学　家政学部　被服学科　カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP1/客観性・自律性

DP1-1/幅広い教養
被服学を多角的に捉えるための幅広い教養を身につけており、自ら発展的な学修ができる。

DP1-2/専門知識
被服学に関する体系的な専門知識を修得し、衣生活における人と自然・社会環境との関係を深く追求し、主体的に考え、自律的に行動する能力を身につけている。

DP1-3/専門技能
生活の質の向上と人類の福祉に貢献するため、被服学の広範な知識と専門的な技能を修得し、修得した技能を主体的判断のもとに応用できる。

DP2/課題発見・解決力
社会の動向を踏まえ、衣生活における人と自然・社会環境に関する課題を発見し、被服学の専門的な知識・技能を活用して、諸課題を分析し、解決できる能力を身につけている。

DP3/リーダーシップ
衣生活における人と自然・社会環境に関する目標を掲げて共有したうえで、リーダーシップを発揮し、他者とともに生活の質の向上に貢献できる。

カリキュラム・ポリシー

専門発展科目

CP5
環境・衣生活、服飾文化・染織文化財、クリエイティブファッション、ビューティ・ウェルネスの4コースに被服に関する専門的かつ高度な知識・技能を修得するため専門教育科目を、体系的に配置する。さらに、思考力・判断力・表現力を身につけた成果を論述、あるいは、表現するために、「卒業論文」「卒業制作」「卒業演習」を選択必修科目・主要授業科目として配置する。

卒業論文・卒業制作・卒業演習

被服管理学Ⅱ
染織品保存科学
ファッションビジネス論
ファッションリテール論
ファッションマーケティング論
コスメティックマーケティング論
コスメティックサイエンス
ビューティ・ウェルネス
衣生活と健康Ⅲ
衣生活と消費科学
消費衣生活論

機器測定法
被服繊維学実験
染色実習
染織品保存科学
染織品保存修復実習Ⅰ
染織品保存修復実習Ⅱ
伝統和服制作実習Ⅱ
伝統和服制作実習Ⅲ
被服造形実習Ⅲ
衣生活とエルゴノミクス
先端ファッションビジネスⅠ
先端ファッションビジネスⅡ

被服繊維学実験
染色実習
染織品保存修復実習Ⅰ
染織品保存修復実習Ⅱ
衣生活とエルゴノミクス
衣生活とデザイン
ファッションDXⅣ
先端ファッションビジネスⅠ
先端ファッションビジネスⅡ
ファッションマーケティング論
ファッションリテール論
ビューティ・ウェルネス
衣生活と健康Ⅲ
衣料管理演習

被服繊維学実験
染色実習
染織品保存修復実習Ⅰ
染織品保存修復実習Ⅱ
先端ファッションビジネスⅡ
ファッションマーケティング論
被服学ゼミナールB
被服学ゼミナールC
テキスタイルアドバイザー実習

専門基幹科目

CP4
キャリアプランの実現に向けて、専門知識・技能を実践的・体験的に学修し、様々な課題に対して応用できる能力を身につけるための専門教育科目を体系的に配置する。

被服材料学Ⅱ
被服管理学Ⅰ
染色加工学
東洋服装史
染織品保存修復論
衣生活と健康Ⅱ
社会臨床心理学

被服材料学実験
被服管理学実験
染織品保存修復論
伝統和服制作実習Ⅰ
被服造形実習Ⅱ
ファッションDXⅡ
マーケティングリサーチⅡ
調理学実習Ⅰ

被服材料学実験
被服管理学実験
先端ファッションデザインⅠ
先端ファッションデザインⅡ
ファッションDXⅡ
ファッションDXⅢ
化粧心理学
衣生活と健康Ⅱ
社会臨床心理学

被服材料学実験
被服管理学実験
社会臨床心理学
被服学ゼミナールA

専門基礎科目

CP3
被服学に関する広範な知識・技能を修得するために、各科目の教育内容に応じて講義、実験・実習、演習系科目を配置する。ディプロマ・ポリシーに示した能力を身につけるため、少人数制による教員と学生間の双方向授業、グループディスカッション、ディベート、グループワーク等のアクティブ・ラーニングを重視した教育を行う。

被服基礎科学
被服材料学Ⅰ
染織文化史
西洋服装史
和服文化論
被服造形学Ⅰ
色彩学
被服心理学
衣生活と健康Ⅰ

衣生活とサイエンス
被服造形基礎実習
被服造形学Ⅱ
被服造形実習Ⅰ
ファッションドローイング
ファッションDXⅠ
マーケティングリサーチⅠ

衣生活とサイエンス

家政学部共通科目

CP2
家政学部共通科目では、家政学を学ぶうえで身につけておくべき基本的な知識と技能を修得するため、以下に教育課程を編成する。
・被服、食物、住居、児童、家庭経営の5領域の基本的知識を学び、それらを統合した人間のライフサイクルと福祉の視点から人間生活を理解するための科目を配置する。
・前述の5領域に関連または基礎となる社会科学・自然科学などの幅広い諸科学の視点と基本的知識を獲得するための科目を配置する。

家政学原論A　家政学原論B　家庭経営学Ⅰ　家庭経営学Ⅱ　消費者経済学
生活関連法規　家族関係学　人間形成の心理学　児童文化論　保育学
社会福祉論　人間学　高齢者論　食物学概論　住居学概論
考古学　環境学概論　統計学　家庭電気・機械

教養教育科目

CP1
学生を、ひとりの女性・ひとりの人間として自律できる人材、すなわち日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加・貢献して責任ある役割を果たす人材として育成するために設けられた「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップ」の必修・選択必修科目を設置する。

協働とリーダーシップコア	他者と協働しながら課題解決に導くためのリーダーシップ力を養う科目区分であり、「リーダーシップ開発実践」「リーダーシップ開発応用」から2単位を選択必修科目とする。
創造とキャリアコア	新たな価値を創造し社会を生き抜くための基礎的な力やキャリア意識を養う科目区分であり、「英語」より2単位を必修科目とし、「英語」「初習外国語」より6単位を選択必修とする。「情報リテラシー」においては、「データサイエンスとICTの基礎」を必修科目とする。「人間を理解するための教養」「社会を理解するための教養」「自然を理解するための教養」「身体と健康を管理する教養」の4つの科目群から6単位を選択必修科目とする。
自律と努力コア	初年次教育科目で、自己を確立し生涯学び続けるための基礎的な力を養う科目区分であり、「基礎ゼミナール」「ライフプランと自己実現」「課題解決のためのリーダーシップ入門」を必修科目とする。

DP1-1に深く関連する科目

DP1-2に深く関連する科目

DP1-3に深く関連する科目

DP2に深く関連する科目

DP3に深く関連する科目

アドミッション・ポリシー

AP1-1
【知識・技能】
高等学校の教育課程を幅広く修得している。

AP1-2
【知識・技能】
高等学校卒業までの履修内容のうち、被服学科における学修の基盤として必要な基礎的な知識・技能を身に付けている。特に、「国語」と「英語」を通して聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基礎を身につけている。

AP2
【思考力・判断力・表現力】
他者の意見や考え方を尊重し、自らの考えを整理・表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している。

AP3-1
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
困難な課題であっても、主体性を持って最後まで取り組む態度を有し、将来的に、被服に関係する設計、生産、流通や教育・研究に従事しようという意欲がある。

AP3-2
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
他者と協調・協働してリーダーシップを発揮し、何事にも積極的に取り組む意欲を有している。また、文化的な背景の異なる人々と外国語で積極的にコミュニケーションをとる意欲がある。

※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。